全経簿記上級 過去問題集

出題傾向と対策

〈別冊〉 解答用紙

もくじ

第	1	8	5	商業簿記	2	第	1	8	5	工業簿記	38
				会 計 学	4					原価計算	40
第	1	8	7	商業簿記	6	第	1	8	7	工業簿記	42
				会 計 学	8					原価計算	44
第	1	8	9	商業簿記	10	第	1	8	9	工業簿記	46
				会 計 学	12					原価計算	48
第	1	9	1	商業簿記	14	第	1	9	1	工業簿記	50
				会 計 学	16					原価計算	52
第	1	9	3	商業簿記	18	第	1	9	3	工業簿記	54
				会 計 学	20					原価計算	56
第	1	9	5	商業簿記	22	第	1	9	5	工業簿記	58
				会 計 学	24					原価計算	60
第	1	9	7	商業簿記	26	第	1	9	7	工業簿記	62
				会 計 学	28					原価計算	64
第	1	9	9	商業簿記	30	第	1	9	9	工業簿記	66
				会 計 学	32					原価計算	68
第	2	0	1	商業簿記	34	第	2	0	1	工業簿記	70
				会 計 学	36					原価計算	72

(単位:千円)

				借	±	方					1	Ě	方		
		勘	定	科	目		金	額	甚	力 定	科	目		金	額
問1	(1)														
	(2)														
問2	(1)														
	(2)														
	(3)														
	(4)														

						損	益				(単位:千円)
仕				入	[)	売		上	[)
営		業		費		11,500	ソフト	ウェアラ	 走		780
社	債		利	息	[)	受 取	配当	金		50
支	払		利	息	[)	()	[)
貸	倒引	当	金 繰	入	[)	()	[)
減	価	償	却	費	[)	()	[)
社	債 発	行	費償	却	[)	()	[)
法	人		税	等		850					
()	[)					
()	[)			/		
()	[)					
()	[)					
()	[)	/				
()	[)					
					[)				[)

			閉鎖	貞 夕	残高	ĵ					(単位:千円)
現	金		1,800		支	払		手	形		3,500
当 座 預	金		6,310		買		掛		金		2,800
受 取 手	形		5,100		未	払 泔	<u> </u>	人稅	等	[)
売 掛	金	[)	未	払		利	息	[)
売買目的有価証	券	[)	借		入		金	[)
買建オプショ	ン	[)	貸	倒	引	当	金	[)
繰 越 商	口口	[)	社				債	[)
備	口口	[)	備占	品減価	償:	却累計	額	[)
車	両		5,000		車同	可減 価	償:	却累計	額	[)
その他有価証	券	[)	資		本		金		12,000
ソフトウェ	ア	[)	資	本	準	備	金		1,300
社 債 発 行	費	[)	利	益	準	備	金		900
()	[)	繰	越 利	益	剰 余	金	[)
()	[)	()	[
()	[)	()	[)
()	[)	()	[J
	-	[)						[)

	正誤	理由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題2

問 1

-		
1.	2.	
3.	4.	

問2 (単位:千円)

退職給付債務額	年金資産額	

問3 (単位:千円)

借	方	貸	方
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額

問題3 問1

	キャッシュ・フロー言	算書	
			(単位:千円)
営業活動によるキャッ	シュ・フロー		
営業収入		[]
商品の()	[]
人件費の支出			$\triangle 490$
その他の営業支出			\triangle 150
小 計		[]
()の受取額	[]
()の支払額	[]
営業活動によるキ	ヤッシュ・フロー	[]
投資活動によるキャッ	シュ・フロー		
()による収入	[]
()による支出	[]
投資有価証券の取得	による支出	[]
投資活動によるキ	ヤッシュ・フロー]
財務活動によるキャッ	シュ・フロー		
短期借入れによる収	入		280
短期借入金の返済に	よる支出		$\triangle 290$
()による収入	Γ	1
()の支払額	Γ	1
財務活動によるキ	ヤッシュ・フロー		
現金及び現金同等物の		[1
現金及び現金同等物の			70
現金及び現金同等物の		Г	1
シレュエノス・ロークレュエココーオーカーソ	/Y1/IN/A/IPI	L	_

[注]マイナスは、金額の前に \triangle を付す。たとえば、マイナス 100 は、 \triangle 100 と表示する。

問2

原因の1つ	
判断した理由	

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
	土 地	2,000,000		
		()		()
問 1	資 本 金	3,000,000	S 社 株 式	()
	資 本 剰 余 金	400,000	非支配株主持分	()
	利 益 剰 余 金	600,000		
		()		
		()		

問	2	借	方	科	目	金	額	貸	方	科	目	金	額	Ą
(1)	X社													
	Y社													
	X社													
(2)	Y社													

問3

繰越利益剰余金

6/20	諸	口	()	4/1	前	期	繰	越		850,000
3/31			()	3/31					[)

その他資本剰余金

6/20	諸	П	[)	4/1	前	期	繰	越		320,000
12/8			[)	1/9					[)
					3/31					[)

	損	益	(単位:千円)
借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金額
売 上 原 価	[]	売 上	86,200
給料	8,400	受 取 利 息	()
旅費交通費	()	受 取 配 当 金	()
貸倒引当金繰入額*1	()	投資有価証券売却益	1,794
減 価 償 却 費 *2	()		()
支 払 地 代	()		()
社 債 利 息	()		()
	()		()
	()		()
	()		()
	()		()
	[]		()
合 計	()	合 計	[]

^{*1} 貸倒引当金繰入額は、本来、販売費及び一般管理費、営業外費用または特別損失に損益計算書の記載区分を分ける必要があるが、ここでは、すべての貸倒引当金繰入額をまとめて記入すること。

^{*2} 建物と備品の減価償却費を合計して記入すること。

第187回・会 計 学 ■■■■■

正誤	理由
	正誤

		用語
88 4	(a)	
問 1	(b)	
	(c)	

		用語
月月 4	(d)	
問 1	(e)	
	(f)	

門	2
11-1	_

l		

問3

(1)	
(2)	
,	

問題3 選択肢:(ア)増加する (イ)減少する (ウ)変わらない

		解	答
(1)	①売上原価の金額		
(1)	②期末商品棚卸高		
(2)	①有価証券評価損の金額		
(2)	②その他有価証券の金額		
(3)	①減価償却費の金額		
(3)	②備品の帳簿価額		

問 1

(単位:億円)

年度	借	方	科	目	金	額	貸	方	科	目	金	額
第1年度												
第2年度												
第3年度												
第4年度												

	損	益	(単位:千円)
借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金額
売 上 原 価	()	売 上	[]
給 料 手 当	10,000	受取利息配当金	(
法 定 福 利 費	750	法 人 税 等 調 整 額	(
退職給付費用	()		
旅 費 交 通 費	800		
支 払 地 代	()		
減 価 償 却 費	()		
資産除去債務調整額	()		
貸倒引当金繰入(販売費)	()		
社 債 利 息	()		
為	()		
貸倒引当金繰入(営業外費用)	()		
関連会社株式評価損	()		
繰越利益剰余金	[()		<u> </u>
		合 計	(

問2

(単位:百万円)

会社	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
C社				
D社				

問題2

					閉鎖	残	高					((単位:千円)
	借方	科目		金	額		貸	方	科目			金	額
現			金		350	買		掛	•	金			10,000
当	座	預	金		2,000	外	貨	建	買 掛	金			1,070
売	挡	計	金		12,500	貸	倒	引	当	金	[)
先	物取	引 差	金	(建	物減	価償	却累言	十額	[
商			品	()	備	品減	価償	却累言	十額	ĺ)
仮	払 泊	肖 費	税		0	仮	受	消	費	税			0
前	払	地	代	()	未		払	利	息	()
前	払	費	用	()	未	払	消	費	税	ĺ)
繰	延 税	金 資	産	()	繰	延	税	金 負	債	[)
建			物	()	社				債	ĺ)
備			品		3,000	退	職	給 付	引 当	金	()
そ	の他有	有 価 証	券	()	資	産	除	去 債	務	()
長	期 复	資 付	金		1,500	資		本		金			30,000
差	入	呆 証	金		40	資	本	準	備	金			1,000
関	連 会	社 株	式	()	利	益	準	備	金			2,000
その)他有価証	券評価差額	頂金	()	任	意	積	立	金			6,300
						繰	越	利 益	剰 余	金	[)
						繰	延	先	物損	益	[)
	合	計		[)		î	È	計		[)

第189回・会 計 学 ■■■

	正誤	理 由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題:	2
-----	---

		用語
88 4	(a)	
問 1	(b)	
	(c)	

		用	丘 口
88 4	(d)		
問 1	(e)		
	(f)		

問2

例 示	市場価格の下落・市場の需給変化
原因①	
原因②	

問	3
冏	-

問4

1	
2	

問題3 (計算過程がわかるように計算式を示すこと)

	計算式(単位:万円)	解答(単位:万円)
問 1		
問2		
問3		

問 1

(単位:千円)

問題番号	借	方	科	目	金	:	額	貸	力	乖	ŀ	目	Ž.	額
(1)														
(2)														
(3)														
(4)														
(5)														

- 									損		:	益					((単位:-	千円)
	借	i 7	方 元	科	目			金	額			貸	方	科 目			金	額	
仕						入	()	売				上	[)
給		料		手		当			16,000)	受	取	ζ	利	息			100)
交			通			費			800)	為	替	差	損	益	ĺ)
水	追	鱼	光	卖	孰	費			700)									
減	伯	Ej	償	⊉	却	費	()									
貸	倒	引	当	金	繰	入	()									
支		払		利		息	()									
商	品評	価	損(!	特別]損:	失)	()									
固	定	資	産	除	却	損	()									
法		人		税		等			2,360)									
法	人	税	等	調	整	額	()									
繰	越	利	益	剰	余	金	()						1			
		合		計			()		合		計		(]

191

問題 1

問2

(単位:千円)

問題番号	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

問題2

A . 75		
鎚	硅	立
亚田	7975	1-1

						閉	鎖	残	高						((単位:千円)
	借方	科目			金	額			貸	方	科	目			金	額
現			金			2,050		買		挂	 		金			18,000
当	座	預	金			8,300		貸	倒	弓		当	金	[)
売	扌	卦	金	ĺ)	仮		受	-		金			0
繰	越	商	口口	ĺ)	仮	受	消	Í	費	税			0
未	才	É	口口			0		未	払	法	人	税	等	[)
仮	才	7	金			0		未	払	消	Í	費	税	[)
仮	払 法	人利	第			0		繰	延	税	金	負	債	[)
仮	払 泊	肖 費	税			0		建	物減	価償	封	累計	額	[)
繰	延 税	金貨	産	ĺ)	備	品減	価償	却	累計	額	[)
建			物	()	IJ-	- ス資	産減	価償	却累訂	十額	[)
備			品			40,000		IJ	_	ス	•	債	務	[)
土			地			3,900		資		本	:		金			50,000
IJ	ー <i>フ</i>	ス資	産			5,512		そ	の他	資	本	剰 余	金	[)
そ	の他有	有 価	証 券	()	利	益	準	Ĺ	備	金			10,700
自	己	株	式	()	繰	越利	刊 益	乗	余	金	()
その)他有価証	券評価	差額金	()									
	合	計		()		É	ì	Ē	†		[)

注意:計算結果がゼロである場合,0と記入すること。

第191回・会 計 学 ■■■

	正誤	理 由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問	題	2
---	---	---

	(a)	
問1	(b)	
	(c)	
	(d)	
	(e)	
	(f)	
問2		
問3		

問題3 (問1及び問2については解だけでなく計算過程も書くこと)

	計算過程:	解:
問 1		%
	計算過程:	解:
問2		%
問3		

イ	
口	千円
ハ	千円
ホ	千円

問題2

取得時(X1年4月1日)

(単位:円)

借方科目	金 額	貸 方 科 目	金額

3年目決算時(X4年3月31日)

(単位:円)

借方科目	金 額	貸 方 科 目	金 額

4年目決算時(X5年3月31日)

(単位:円)

借 方 科 目	金額	貸 方 科 目	金額

閉鎖残高

(単位:千円)

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
現 金	99,570	支 払 手 形	2,700
当 座 預 金	[]	買掛金	11,700
受 取 手 形	3,000	長期借入金	21,000
売 掛 金	[]	社	[
売買目的有価証券	[]	退職給付引当金	[
繰 越 商 品	[]	貸 倒 引 当 金	[
建物	600,000	建物減価償却累計額	[
備品	8,200	備品減価償却累計額	[]
子 会 社 株 式	[]	資 本 金	400,000
その他有価証券		資 本 準 備 金	2,500
	[]	利 益 準 備 金	7,550
		繰越利益剰余金	[]
	[]		[]
	[]		[]

(注)すべての空欄に語句または数値が入るとはかぎらない。

	正誤	理 由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問題	2
----	---

問 1	用 語
(a)	
(b)	
(c)	
(d)	
(e)	

Ī	引2	
ħ	引3	
-		

問題	3
----	---

問 1	

問2

問 1

(単位:千円)

問題番号	1	此	方	科	目		金	額		貸	方	科	目		金	額
(1)																
(2)																
(3)																

問題2

							損		益								(単作	立:千	<u> </u>
	借っ	方 乖	斗 目			金	額		1	方	科	· 目				金	1	領	
売	上		原	価	()	売				ا	Ŀ.	()
給	料		手	当			148,000		*貸 倒	引	当 :	金 ;	繰り	ζ.	()
旅	費	交	通	費	[)	*有 価	証券	6 運	用	損益	益	()
支	払	手	数	料	[)	*固定	資 産	意売	却	損益	益	[)
支	払		地	代	[)						/					
*貸	倒 引	当	金箱	燥 入	[)											
減	価	償	却	費	[)					<i>/</i>						
ソ	フト	ウェ	ア	償 却	()				/							
*有	価証	券 運	用	損 益	()											
*固	定資	産 売	却	損 益	()			<i>/</i>								
減	損		損	失	()	,	/									
法	人		税	等			8,400												
繰	越利	益	剰	余 金	[)											
	合		計		()		合		計			[]

注意:*がついている科目について、金額の発生しない側には、〔 〕内に― (ダッシュ)を記入すること。

問題 1 問 2

(単位:千円)

			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
借方科目	金 額	貸 方 科 目	金 額

問題2

	閉鎖	残 高	(単位:千円)
借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金額
現金	5,410	買 掛 金	91,800
当 座 預 金	22,500	電子記録債務	17,280
クレジット売掛金	()	仮 受 金	0
売 掛 金	93,852	仮 受 消 費 税 等	0
電子記録債権	12,960	未 払 法 人 税 等	()
売買目的有価証券	()	未 払 消 費 税 等	()
商品	()	貸 倒 引 当 金	()
未 収 入 金	()	建物減価償却累計額	()
仮 払 金	0	備品減価償却累計額	
仮 払 法 人 税 等	0	商品評価引当金	()
仮 払 消 費 税 等	0	資 本 金	200,000
前 払 地 代	()	その他資本剰余金	20,250
建物	()	利 益 準 備 金	50,000
備品	()	繰越利益剰余金	()
ソフトウェア	()		
建 設 仮 勘 定	0		
合 計	[]	合 計	[]

第195回・会 計 学 ■■■

	正誤	理 由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

問1	用 語
(a)	
(b)	
(c)	
(d)	
(e)	
(f)	
(g)	
(h)	

1)	2

問3

(①	2

問4

(1)	① 売上原価の金額	(ア) 増加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
	② 期末商品棚卸高	(ア) 増加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
(0)	① 有価証券評価損の金額	(ア) 増加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
(2)	② その他有価証券の金額	(ア) 増加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
(3)	① 減価償却費の金額	(ア) 増加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
	② 備品の帳簿価額	(ア) 増 加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
(4)	① 減価償却費の金額	(ア) 増加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変
	② 本社建物の帳簿価額	(ア)増加	(イ) 減 少	(ウ) 不 変

問題 1 (単位:千円)

	借方科目	借方金額	貸 方 科 目	貸方金額
問 1				
問 2				

	損 益	(単位:千円)
借方科目	金額貸方科目	金額
· 人	〔 〕 克 上	790,000
消 耗 品 費	〔 〕 受 取 利 息	50
社 債 利 息	〔 〕 受 取 地 代 〔	
支 払 利 息	〔 〕 受取配当金	82
支 払 保 険 料	「 有価証券評価益 [
減 価 償 却 費	〔 有価証券利息	
減 損 損 失		
法 人 税 等		
貸倒引当金繰入		
合 計	() 合計 (

(単位:千円)

	借方科目	借方金額	貸 方 科 目	貸方金額
(1)				
(2)				
(3)				

問題3

		_	
閉	銷	残	高
170	47日	75	ini

(単位:千円)

	闭 鋇	残 尚	(単位・十円)
借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
現金		支 払 手 形	800
当 座 預 金		買 掛 金	
受 取 手 形	11,200	社	
売 掛 金		長 期 借 入 金	5,000
電 子 記 録 債 権		貸 倒 引 当 金	
売買目的有価証券		建物減価償却累計額	
繰 越 商 品		車両運搬具減価償却累計額	
車 両 運 搬 具	1,200	資 本 金	400,000
建物		資 本 準 備 金	60,000
土 地	508,000	利 益 準 備 金	27,000
貸 倒 懸 念 債 権	1,000	繰越利益剰余金	
満期保有目的債券		その他有価証券評価差額金	
子 会 社 株 式			
その他有価証券			
仮 払 法 人 税 等	0		
	[()		
合 計	[]	合 計	

正誤	理由
	正誤

問1	用 語		用語
(a)		(e)	
(b)		(f)	
(c)		(g)	
(d)			

(c)		(g)	· 会
(d)			会 計
問2			
問3			
問4			
10 4			
題3 問1			
基 準	支配力基準		
長 所			
基 準	持株基準		197
長 所			
問2			
問3			

問題 1

(単位:円)

問題	番号	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	1				
(1)	2				
(2	2)				
(3	3)				

	損	益	(単位:円)
借 方 科 目	金 額	貸方科目	金額
位 入		売 上	3,210,000
給料 手 当	107,500	受 取 配 当 金	1,600
広 告 宣 伝 費	14,500		[
雑費	1,869		[
貸倒引当金繰入			
減 価 償 却 費			
商標権償却			
社 債 利 息			
	[()		
	[()		
法 人 税 等	[()		
繰越利益剰余金	[()		
	[]	,	[]

(単位:円)

	(i — · •)
1	
2	
3	
4	
(5)	
6	
7	
8	

問題3

	閉鎖	残 高	(単位:円)
借方科目	金 額	貸 方 科 目	金 額
現 金	163,051	買 掛 金	()
当 座 預 金	[(電子記録債務	21,450
売 掛 金	[()	仮 受 消 費 税 等	0
電 子 記 録 債 権	21,000		
売買目的有価証券	()		
繰 越 商 品	()		
仮 払 消 費 税 等	0	社	1,000,000
仮 払 法 人 税 等	0	社 債 発 行 差 金	
	[()	貸 倒 引 当 金	
	()	建物減価償却累計額	
建物	675,000	備品減価償却累計額	
備品	160,000	資 本 金	2,000,000
土 地	1,800,000	資 本 準 備 金	120,000
商標権	()	利 益 準 備 金	34,000
その他有価証券	[()	繰越利益剰余金	
子 会 社 株 式	[()	その他有価証券評価差額金	
長期性預金	200,000		
	()		[]

第199回・会 計 学 ■■■

正誤	理由
	正誤

問題2				
問 1				
(a)		(d)		**
(b)		(e)		一 一 第
(c)		(f)		· ·
問2				一 一 一 一 会 計
問3				
問 4				
問題3				
問1				
問2				199
問3				
(1)				
(1)			 	
(2))比率			

連結精算表

(単位:円)

ty □	個別財務諸表		修正消去		連結財務諸表	
科目	P社	S社	借方	貸方	一 理結財	勞
貸借対照表					連結貸借	対照表
現金預金	4,000	1,000				
売掛金	700,000	200,000				
貸倒引当金	(14,000)	(4,000)			()
商品	450,000	125,000				
土地	1,000,000	500,000				
S社株式	536,000					
繰延税金資産						
その他資産	460,000	299,000				
資産合計	3,136,000	1,121,000				
買掛金	(500,000)	(150,000)			()
繰延税金負債					()
その他負債	(336,000)	(421,000)			()
資本金	(1,600,000)	(400,000)			()
利益剰余金	(700,000)	(150,000)			()
評価差額						
非支配株主持分					()
負債・純資産合計	(3,136,000)	(1,121,000)			()
損益計算書					連結損益	計算書
売上高	(3,000,000)	(800,000)			()
売上原価	2,200,000	500,000				
貸倒引当金繰入	8,000	1,000				
受取配当金	(64,000)					
その他費用	456,000	199,000				
法人税等調整額					()
当期純利益	(400,000)	(100,000)			()
非支配株主当期純利益						
親会社株主当期純利益					()

<u>決算整理後残高試算表</u>

(単位	:	円)

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
現金	100	買 掛 金	154,000
当 座 預 金	5,000	仮 受 消 費 税 等	0
売 掛 金		未 払 消 費 税 等	
売買目的有価証券		未 払 法 人 税 等	
買建オプション		貸 倒 引 当 金	
仮 払 消 費 税 等	0	建物減価償却累計額	
仮 払 法 人 税 等	0	備品減価償却累計額	
繰 越 商 品		社	
貯 蔵 品		退職給付引当金	
前 払 地 代		資 産 除 去 債 務	
建物		資 本 金	500,000
備品		その他資本余剰金	80,000
保 証 金	500,000	利 益 準 備 金	50,000
長 期 貸 付 金		繰越利益余剰金	60,860
仕 入		新株予約権	
給 与 手 当	150,000	売 上	
支 払 地 代		受 取 利 息	500
減 価 償 却 費		有価証券運用損益	
貸倒引当金繰入(販売費)			
棚卸減耗損			
商 品 評 価 損			
退職給付費用			
その他の費用	100,000		
社 債 利 息			
オプション差損			
貸倒引当金繰入(営業外費用)			
資産除去債務調整額			
固定資産除去損			
法 人 税 等	12,800		
	()		(

第201回・会 計 学 ■■■

	正誤	理 由
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
9.		
10.		

问題	問題2	
----	-----	--

問 1	用 語		用 語	
(a)		(d)		
(b)		(e)		F
(c)				
周 2				
直3 引1				
(a)				
(b)				
(c)				
 月2				
∄ 3				
(1)				
(2)				
(2)				

笙1	85回	工業簿記

問1 基準操業度 []時間

問2 変動費率 []円/時間 固定費[]円

問3 予定配賦率 []円/時間

問4

(単位:円)

	No.1	No.2	No.3	No.1-R	No.2-2
直接材料費	[]		[]	[]	
直接労務費	[]		[]		
製造間接費	[]				
作業屑売却収入	_	_	[]	_	_
仕損売却収入	_		_	_	_
仕 損 費 振 替	[]		_		
合 計	[]		[]	[]	[]

^{*}マイナスには△をつけること。

問5

製造間接費 予 定配賦額 П] 諸 予 差 異 予 算 差 業度差 異 業度差異 予 算 差 異 操業度差異]] 製造間接費[]]製造間接費[製造間接費[製造間接費[

问	6
---	---

問 1

	等級製品X	等級製品Y	等級製品Z
原材料費	円	円	円
加工費	円	円	円

] 円

- 1	日日	\sim
- 1		

等級製品Xの正常減損費	Γ
す 次衣 ハツル 甲(州)只貝	L

等級製品Yの正常減損費 []円

問3

等級製品 X の完成品原価 []円

等級製品Yの完成品原価 []円

	連産品P	連産品Q
分離点後実際加工費	円	円
連結原価配賦額	円	円
計	円	円

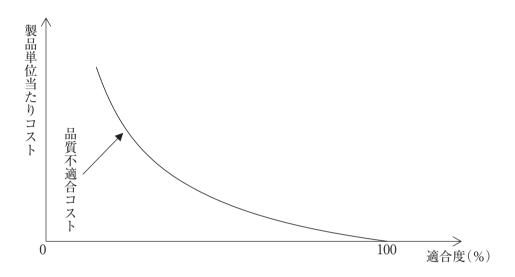
88 85 J						
問題 1 問 1	製品X単位当たり製造原価]円/単位			
	営業利益 []円				
問2	営業利益 []円				
	製品Xの月間生産・販売量	[]単位			
問3	営業利益 []円				
	製品 X-2 の月間生産・販売量	<u>t</u> []単位			
問4	製品 X の生産・販売量を a , 等号または不等号を記入するこ		・販売量をbと	とする。なお,[]には数値, ()には
	目的関数: [円/単位]×	a + [円/単	位]× b の最大化	
	制約条件式:					
	材料消費制約 [] × a + [.] × b () []
	作業時間制約 [] × a + [] × b () []
	販売量制約 [] × a () []		
	[] × b (]		
	非負条件 a ≥ 0 , b	≥ 0				
	製品Xの月間生産・販売量	[]単位			
	製品 X-2 の月間生産・販売量	t []単位			
	営業利益 []円				
問5						
F] O						
	 変化する可能性がある制約条件を	・○で囲るおそい				
3	又iuりるり配住ガムクの側刺朱件で	○「国みょうい。				
	材料消費制約 作業時間	[制約 販売量	计制約			

問題2

問 1



問2



問3

- (A)コスト [] 百万円
- (C)コスト [
-] 百万円

- (D)コスト [
-] 百万円
- (E)コスト [
-] 百万円

問4

問題:	1
-----	---

	_	
_	9	- 1
10	31	

1 1	2	2	1	5	
1		J	- +	J	

DH:	7 /	115	/п-
HT.	Λ 1	1	illi
パサノ	/ ∖	V.	ΙЩΙ

材料A [材料B []円

取得原価

材料A [材料B []円

問3

		材	料		
前月繰越	()	仕掛品	()
諸口(当月購入分)	[)	製造間接費	()
材料消費価格差異	[)	材料消費価格差異	()
			次月繰越	()
	()		()

(注)金額を記入する必要のない空欄には「-」を記入すること。

問4

直接工賃金の間接労務費分 []円 間接工賃金・給料の間接労務費分 []円

問5

賃金・給料

諸口(当月支払分)	()	未払賃金給料	[)
未払賃金給料	()	仕掛品)
賃率差異	()	製造間接費)
			賃率差異	[)
	()		[)

(注)金額を記入する必要のない空欄には「-」を記入すること。

問6									
問7									
	製造間接費配賦差異	(〕円	(有利差異	・ 不利差異) 該当する方を○で囲むこと	
	予算差異	(〕円	(有利差異	・ 不利差異) 該当する方を○で囲むこと	工
	操業度差異	(〕円	(有利差異	・ 不利差異) 該当する方を○で囲むこと	工簿·原計
問8									
	借	方	金	額	貸		方	金 額	
問9									
									187
問題	12								
問 1	価格差異	(〕円	(有利差異	・ 不利差異) 該当する方を○で囲むこと	
	数量差異	(〕円	(・ 不利差異) 該当する方を○で囲むこと	
問2									

問2	製品C	[〕円/	/時間				
問題 問 1	2 製品 A	(] 円/	/時間	製品 B	[〕円/時間	
問6								
問5	()案の方が() 案より)も正味現在	価値が〔		〕万円大きいので有利である	る。
問4	(〕万円					
問3	(〕万円					
問2	(〕万円					
問 1			〕万円					
金	1 額がマイ	ナスの場合は△を	付けること。					

製品A	製品B	製品C
個	個	個

貢献利益の総額 []円

問4

製品A	製品B	製品C
個	個	個

貢献利益の総額 〔 〕円

問5

損益分岐点売上高 〔 〕円

問題	1
1. 3.00	•

	補助部門費の	予定配	試率 〔		〕円/単位	
	補助部門費配則	試額				
	第1部門	[〕円		
	第2部門	[〕円		
	第3部門	[〕円		
問2	!					
			予定配賦率		仕掛品への配賦額	
	第1部門	(〕円/h	(〕円
	第2部門	(〕円/h	(〕円
	第3部門	[〕円/h	(〕円
問3	}					
	補助部門の配見	試差異	(〕円		
	第1部門配賦	差異	(〕円		
	変動費予算	算差異	(〕円	固定費予算差異〔	〕円
	操業度差	異	(〕円		
問4						
	加工時間1時	間当た	りサービス提供量	(〕単位 / h	
	補助部門におり	ける追加	加的なサービス提供量	(〕単位	
問5	;					
	第1製造部門	費 [〕円		
	計算過程					

問 6	5	

問 1

	月末仕掛品原価	当月完成品原価
直接材料費	[] 円	()円
加工費	[] 円	[] 円
合 計	〔 〕円	〔 〕円

問2

借	方	金	額	貸	方	金	額

問3

評価上の差額

[

〕円

) 円

[

現金

問題 2										
	予算 売上高〔			〕円	貢献利益〔					〕円
	実績 売上高〔			〕円	貢献利益〔					〕円
問2										
	価格差異 製品A 〔	〕円	()差異	製品B	(〕円	()差異
	(広義の)数量差異 製品A 〔	〕円	()差異	製品B	[〕円	()差異
問3	3									
	セールス・ミックス差異	(〕円()差異			
	(狭義の)数量差異	() 円 ()差異			
問題3	3									
問 1										
	ア()	イ()	ウ()
問2										

月日	跖	4
	┲ㅂ	- 1

問 1																			
								等級製	品P			等級	製品の)				計	
	直	接	材	料	費	ŧ				kg					kg				k
	加		工		費	ŧ.				kg					kg				k
問2	等級製	見品 P	の正	常》	咸損!	費	[)円								
	等級製	製品Q	の正	常》	咸損	費	()円								
問3	等級製	見品 P	完	:成品	品原作	価	[)	円	月末	仕掛品	原価	[〕円
	等級製	y品 Q	完	送成品	品原作	価	[)	円	月末	仕掛品	原価	[〕円
問4	等級製	製品 Q	当月	製造	告費	用	直接标	 料費	[〕円	加	工	費	(〕円
問5	,	借			方			金	額			貸		方			金		額
問6																			
問6																			
問6																			
問6																			
問6																			
問6																			
題2	趣 淮 西	李 知						······································	·····································	銀儿) 陌 価 趣	〔淮					 	······································
	標準暫	己賦率						〕円/	· 時	製	品 X の	原価標		(] [固
題2						············ 合		〕円/	′ 時	製	品 X の	原価標	:準	(] [固
題2	標準面パーシ				か場~	合							·····································	(1 (西
題2		ノヤル	プラ	ンク)円/		計直接村	才料費			()	四 / f	固
題2		ノヤル	プラ	ンク	200 / 200 /	越] 円/		計直接村	材料費	E III	i [()	 	西
題2		ノヤル	プラ 前 材	・ンの 月	繰	越料		〕円/		計直接] 集] <i> り</i>	オ料費 と に 月	操起	<u>.</u> [() F		固
題2		ノヤル	プラ 前 材	・ンの 月		越料] 円/		計直接] 集] <i> り</i>	オ料費 と に 月	E III	<u>.</u> [() F	 	西
題2		ノヤル	プラ 前 材	・ンの 月	繰	越料		〕円/	仕掛	計直接材	材料費 と て 月 価	品 繰 差 差	<u>.</u> [[) [西
題2		/ ヤル	が材原	月 価	繰差	越料異	[〕円/	仕掛	計直接材	材料費 ス月価 労務費	品 繰 港 差		() F	円 / f	固
題2		/ ヤル	プが対原前	月 価 月	繰差	越料異越	[[[〕円/	仕掛	計直接材	材料費 以 月 価 労務費	繰 差 事		[) F		西
題2		/ ヤル	プ 前材原 前賃	月 価 月	繰差	越料異越金	[[[[〕円/	仕掛	計直接材	材料費 月 価 費 月	繰差 事		() F	円 / f	固

					仕掛	製造	造間	接費				
	前	月	繰	越			製			ㅁ	[]
	製	造	間 接	費]	次	月	繰	越	[]
	原	価	差	異]	原	価	差	異	[]
]					[]
シングルプ	゚ヺ	ンの	場合				•					
					仕掛	直接	妾材料	枓費				
•	前	月	繰	越]	製			品]
	材			料]	次	月	繰	越]
	原	価	差	異]	原	価	差	異]
]					[]
					仕掛	直接	妾 労	務費				
	前	月	繰	越]	製			ᇤ	[]
	賃			金]	次	月	繰	越	[]
	原	価	差	異]	原	価	差	異	[]
]					[]
					仕掛	製造	造間打	接費				
	前	月	繰	越]	製			品]
	製	造	間 接	費]	次	月	繰	越	[]
	原	価	差	異]	原	価	差	異	[]
]					[]

問3

直接材料費総差異	有利・不利		
価格差異	有利・不利	数量差異	有利・不利
直接労務費総差異	有利・不利		
賃率差異	有利・不利	時間差異	有利・不利
製造間接費総差異	有利・不利		
予算差異	有利・不利	固定費能率差異	有利・不利
変動費能率差異	有利・不利	不働能力差異	有利・不利

数字にはプラス・マイナスをつけず、有利な差異か不利な差異かに○をすること。

問4	

第191回・原価計算 ■■■					
問題 1 問 1					
全社的売上高		〕千円	全社的営業利益	[〕千円
問2 A事業部	(〕千円	B事業部	(〕千円
問3					
問 4					
	[) %	B事業部	() %
11 4 76 16		<i>y</i> 70	D 4 7/10		<i>y</i> 70
問5 (採用 不採戶 理由	用) 解答を○~	で囲むこと			
問6					
問7					
指標名()				
採用しない場合	(〕 採用	した場合 〔]
問8					
	(〕千円			

Π
簿
原
=1

原価計算
立:円)
額
)

活動名		活動原価	X製品への配賦額	Y製品への配賦額	
段		取		[()	()
機	械 関	連	()	[]	()
出		荷	[]	[]	[]
そ	0)	他	[]	[]	()

(単位:円)

	X製品	Y製品
月 末 仕 掛 品 原 価		
完 成 品 原 価		()
当月着手分の完成品単位当たり製造間接費	()	()
前月製造間接費単価より(いずれか適切なほうに〇)	上昇 下落	上昇 下落

問3

(単位:円)

当月着手分の単位当たり低減額

X	製	苗	L	J
Y	製	口口)

M) 10								
問題	1							
問	1							
	補助部門費配賦後の切削部門費予算] 円				
	内訳:変動費	[] 円	固定費] 円
	補助部門費配賦後の組立部門費予算	[] 円				
	内訳:変動費	[] 円	固定費	[] 円
問	2							
	切削部門の予定配賦率] 円/時	間				
	組立部門の予定配賦率 [] 円/時					
問		Г		7 177				
	補助部門費配賦後の切削部門費予算	[] 円	可合曲	г		7 1
	内訳:変動費] 円	固定費] 円
	補助部門費配賦後の組立部門費予算] 円				
	内訳:変動費	[] 円	固定費	[] 円
問	4							
	切削部門の予定配賦率]円/時	間				
	組立部門の予定配賦率 [] 円/時	間				
問	5	動力音	羽門費					
	諸 口 2,677	7,200	切 削	部門	費 []	
	() []	組立	部門	費 []	
	原 価 差 異 []	() []	
			原価	差	異 []	
		修繕音						
	諸 口 1,284	1,700	切 削	部門	費 []	

組立部門費[

原 価 差 異 [

(注)記入する必要のない欄はそのままにしておくこと。

() [

原 価 差 異 [

特徴:				
前提:				

<u></u>													
月	初(仕 掛			3,255,305		製				口口	[]
材			料]	仕		損		費	[]
賃	金	給	料]	()	[]
切	削音	部 門	費]	月	末	仕	掛	品	[]
組	立	部 門	費]							
()]							

(注)記入する必要のない欄はそのままにしておくこと。

問題2

問 1

 完成品総合原価 原材料費
 [
] 円

 完成品総合原価 第1工程加工費
 [
] 円

 完成品総合原価 第2工程加工費
 [
] 円

問2

問1では、第1工程の工程完了品原価を()として第2工程に振り替えるのではなく、 二つの工程を()の工程とみなして、最終完成品と各工程の月末仕掛品の原価を計算している。また、原価配分方法として、平均法を採用している。そのため、この方法では、第1工程の月末 仕掛品原価の中に、第2工程の()原価の一部が含まれる。このことは、加工作業の流れに沿って正確な原価を計算する考え方にもとづくと、望ましくないといえる。

第193	回・原	価計算 ■■■■■■			
問題 1					
問 1					
	1				
	2				
問2	2				
	損益	分岐点売上高			千円
	安全	余裕率] %
問3	3				
	経営	レバレッジ係数			
問厶	ļ				
	営業	利益増加額			千円
	計算	過程:			
問 5	5				
		塚電工の安全性は[改善した・	悪化した・不	変である]。(該当するものを○で囲むこと)
	その	理由:			
問6	6				
	-				
	その	理由:			

問題2

問 1

(単位:円)

第1	年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度

88	
	_

[]年度目で回収することができる。

問3

投下資本利益率が []%なので、この投資案は [採用すべきである · 採用すべきでない]。 (該当する方に○をつけること)

問4

正味現在価値 (NPV) が []円なので、この投資案は [採用すべきである ・ 採用すべきでない]。 (該当する方に \bigcirc をつけること)

問題 1					
問 1	原料分の異常減損費	[] 円		
	加工費分の異常減損費	[] 円		
問2	(借)() [〕(貸)() []
問3	原料分の正常減損費	[] 円		
	加工費分の正常減損費	[] 円		
問4	月末仕掛品原価	[] 円		
問5	(借) () [] (貸)() []
問6	原料分の正常減損費	[] 円		
IPJ O					
	加工費分の正常減損費	[] 円		
問7	月末仕掛品原価	[] 円		

日日	跖	-
	咫	_

			賃	金			
(諸	□)]	()	[]
()]	()	[]
()]	()	[]
()	[]	()	[]
]]

問1

連結原価の配賦額

(単位:円)

連産品X	連産品Y	連産品Z

問2

連結原価の配賦額

(単位:円)

連産品X	連産品Y	連産品Z

•

______<u>195</u>

第195	回・原価計算 ■■■■					
問題 1 問 1						
PJ	予防コストの割合	[] %	評価コストの割合	[] %
		_			_	
	内部失敗コストの割合] %	外部失敗コストの割合	· [] %
問2						
	予防コストの割合	[] %	評価コストの割合	[] %
	内部失敗コストの割合	[] %	外部失敗コストの割合	[] %
問3						
問 4						
	機会損失を含めた場合の	の前期の品質コス	ト総額の増加割	割合 [] %	
	機会損失を含めた場合の	の当期の品質コス	ト総額の増加割	割合 [] %	
問5						
1-30						
問題2						
問 1						
問2						
	名 称 () 数	值 [] %	

問3	3							
	1年度]		2年度	[]	
	3年度]		4年度]	
問 4	Ļ							
	パターン』	Aのもとでの	の正味現在価値	[] 円		
	パターン]	Bのもとでの	の正味現在価値	[] 円		
問 5	5							
問題 3 問 1								
	① [] 円		② [] 円	

② [

] 円

問2

① [

] 円

第197回・工業簿記							
問題 1							
問 1							
正常仕損費	()	円	月末仕掛品原価	(〕円	
当月完成品原価	()	円				
問2							
借方科	目	金	額	貸方科	1	金 額	
問3							
月末仕掛品原価	()	円	当月完成品原価	(〕円	
問4							
借方科	目	金	額	貸方科	1	金 額	
問5							
① [〕円	(2 (〕円		
問6 不利差異に	は△を付すこ	٤					
A 工程振替差異	()	円	B工程振替差異	(〕円	
理由:							
問7							
月末仕掛品原価	[)	4	当月完成品原価	[〕円	

問	8 不利差異には△	全付すこと				
	加工費配賦差異	(〕円			
	変動費予算差異	(〕円			
	固定費予算差異	(〕円			
	操業度差異	(〕円			
問	9					
J	月末半製品原価	(〕円	月末C製品原価	[〕円
問	10					
2	当月の営業利益	(〕円			
18 8 8 8	2					

A	
В	
С	
D	
Е	
F	
G	

問題:	I				
問	I				
	製造間接費の予定配賦率	(〕円/時間	
問2	2				
	部品 A 1 個当たりの製造原価	(〕円	
	内訳:直接材料費 〔		〕円		
	内訳:直接労務費 〔		〕円		
	内訳:製造間接費)円		
	部品B1個当たりの製造原価			〕円	
	内訳:直接材料費 〔		〕円		
	内訳:直接労務費 〔		〕円		
	内訳:製造間接費 〔		〕円		
問:	3				
	製品 X の生産・販売量	(〕個	
	製品 A 担当の直接工の余剰時間	(〕時間	
	製品B担当の直接工の余剰時間	(〕時間	
問4	1				
	月次利益	(〕円	
	注:マイナスの場合は数値の前に	□△を付すこと。			
問	5				
	月次利益	(〕円	
	注:マイナスの場合は数値の前に	□△を付すこと。			
	「問4の月次利益 〕の方が	(〕円利益が大きい。	
	本問の月次利益				
	注:カッコ内は適切と思われる方	。 に○をつけること。			
問 6	3				
	月次利益	(〕円	
	注:マイナスの場合は数値の前に	□△を付すこと。			
	「問4の月次利益 〕の方が	(〕円利益が大きい。	
	本問の月次利益				
	注:カッコ内は適切と思われる方	。 に○をつけること。			
問	7				
	P		イ		
-	ウ		エ		
- 1					

問題2				
問 1				
	第6期の予測売上高		〕千円	
問2				
	部品1個当たりの変動費	(〕千円	
	年間固定費		〕千円	
問3				
	部品1個当たりの変動費	(〕千円	
	年間固定費		〕千円	
問4	(1) 高低点法			
	損益分岐点の販売量		〕個	
	(2) 最小自乗法			
	損益分岐点の販売量		〕個	
問5				

問 1

(単位:kg)

					等級製品 A	等級製品 B	等級製品 C
直	接	材	料	費			
加		工		費			

睭	2
	_

(単位:円)

					等級製品 A	等級製品 B	等級製品 C
直	接	材	料	費			
加		工		費			

〕円

問3		
等級製品Cの異常減損費	(〕円
問 A		

等級製品 A 完成品総合原価 [〕円 [月末仕掛品原価 〕円 等級製品 B 完成品総合原価 [〕円 [月末仕掛品原価 〕円 等級製品 C 完成品総合原価 [〕円

[

月末仕掛品原価

(1)

借 方	金額	貸 方	金額

(2)

借方	金 額	貸 方	金額

(3)

借方	金額	貸 方	金 額

(4)

借 方	金額	貸 方	金額

(5)

借 方	金 額	貸 方	金 額

問題3

原料配合差異

原	料X	円	不利・有利
原	料Y	円	不利・有利

原料歩留差異

原料 X	円	不利・有利
原料 Y	円	不利・有利

笙1QQI	回・原価計算 ■■■		
AD 1991	国 冰川可开		
問題 1 問 1		(] %
問2	2 年間フリーキャッシュフロ	1 — (〕千円
問3	3	〕千円 ②[〕千円
問 4	1		
미	年間キャッシュフローのナ	曽減額 〔	〕千円(減少額の場合には△を付すこと)
問5	5		
1-30	買収額は〔	〕千円以下にするべき	きである。
	計算過程		

問題 2 問 1						
j⊷ , i	7()				
問2	2					
	全社的損益分岐点売上高		[〕千円		
	A 事業部〔	〕千円	B 事業部〔	〕千円	C 事業部〔	〕千円
問3	,					
D] C		〕千円				
問 4	l.					
	[〕千円				
	計算過程					

機	会	原	価	と	は	,							

第201 原	回・工業簿記 ■■■■■						
第2016 問題 1 問 1	□· 上未 得 配						
	製造間接費の標準配賦率	[〕円/時間	
問2							
	当月完成品原価 〔				〕円		
	月末仕掛品原価〔				〕円		
問3							
	借方科目		金	額		貸方科目	
問4							
	借方科目		金	額		貸方科目	

借方科目	金額	貸方科目	金額

金

金

額

額

BB.	
167	6

9			
原価差異の総額		〕円	
材料数量差異			
材料 X の材料数量差異	(〕円	
材料Yの材料数量差異	[〕円	
製造間接費差異			
予算差異	(〕円	
能率差異	[〕円	
操業度差異	(〕円	
7			

問 1					
①の方法					
		仕掛	品		
前月繰越]	製品	[
諸口]	原価差異		
原価差異]	次月繰越	[
			(注) 記入する必	要のない欄はそのまま	にしておくこと
②の方法					
		仕掛	品		
前月繰越	[]	製品		
諸口]	原価差異		
原価差異	[]	次月繰越	[
			(注) 記入する必	要のない欄はそのまま	にしておくこと
問2					
題3					
名称					
意味					

名称

意味

問 1

配賦率 [] 円/時

	製品 A	製品B	製品C
単位当たり配賦原価	円	円	円

問2

	製品 A	製品B	製品C
単位当たり配賦原価	円	円	円

問3

[]分

問4

[]円/分

問5

段 取	円/回
マテハン	円/回
検 査	円/回

	製品 A	製品 B	製品C	計
段 取	円	円	円	円
マテハン	円	円	円	円
検 査	円	円	円	円
合計	円	円	円	円

	製品 A	製品B	製品C
単位当たり配賦原価	円	円	円

問8

[] 円

問題2

問 1

製品の組み合わせ

製品X	製品Y	製品Z
個	個	個

利益額〔 〕円

問2

加重平均貢献利益率 []% 損益分岐点売上高 []円 安全余裕率 []%

問3

利益が最大となる製品組み合わせは、製品 X が () 個、製品 Y が () 個、製品 Z が () 個であり、その時の全体の利益は () 円である。当初の利益より () 円利益が (増加・減少)*するので、この固定費の追加は (行うべきである・行うべきではない)*。
*は該当するものに○をすること。

問4

利益が最大となる製品組み合わせは、製品 X が () 個、製品 Y が () 個、製品 Z が () 個であり、その時の全体の利益は () 円である。当初の利益より () 円利益が (増加・減少)*するので、この固定費の追加は (行うべきである・行うべきではない)*。
*は該当するものに○をすること。